



アドビ システムズ 株式会社
141-0032 品川区大崎 1-11-2
ゲートシティ大崎イーストタワー 19F

アドビ、Adobe MAX 2018 で次世代の Adobe Creative Cloud を発表 Creative Cloud のさらなる革新と価値を示す、 主要製品のメジャーアップデート、ソーシャルビデオアプリ Premiere Rush CC、 iPad 版 Photoshop CC と Project Gemini のプレビューを公開

※当資料は、2018 年 10 月 15 日に米国本社から発表された[プレスリリース](#)の抄訳です。

【2018 年 10 月 15 日】

米国カリフォルニア州ロサンゼルス発：Adobe (Nasdaq: ADBE) (本社：米国カリフォルニア州サンノゼ、以下アドビ) は本日、世界最大のクリエイティブカンファレンス「[Adobe MAX](#)」で、Photoshop CC、Lightroom CC、Illustrator CC、InDesign CC、Premiere Pro CC、Adobe XD などの主要アプリのメジャーアップデートを発表しました。加えて、動画クリエイター向けに、ビデオの編集と YouTube や Instagram などのソーシャルメディアへの投稿を簡単にできる、初のオールインワンで使いやすいビデオ編集アプリ Adobe Premiere Rush CC を公開しました。また、さまざまなデバイスでシームレスに使える高性能のアプリを実現するというアドビのコミットメントを標榜する、iPad 版の Adobe Photoshop CC とイラスト制作アプリ Project Gemini のプレビューを紹介しました。

アドビのチーフプロダクトオフィサー兼 Creative Cloud 担当エグゼクティブバイスプレジデントであるスコット ベルスキー (Scott Belsky) は次のように述べています。「本日、アドビはデバイスとプラットフォーム間のクリエイティブワークフローを変革することでクリエイターコミュニティに有意義な価値をもたらす、次世代クリエイティブアプリケーション群を発表しました。主要アプリを継続的に改良し続けるだけでなく、エクスペリエンスデザインやソーシャルビデオ制作といった新しい分野に参入し、タッチ操作、音声認識、3D、拡張現実 (AR) などの新しいメディアに積極的に取り組んでいくことで、Adobe Creative Cloud は、真にすべての人のためのクリエイティブプラットフォームとなりました。」

Creative Cloud アプリケーションとサービス全体のイノベーション

Creative Cloud のデスクトップアプリケーションのメジャーアップデートには、Photoshop CC の「コンテンツに応じた塗りつぶし」ワークスペース、Lightroom CC と Lightroom Classic CC のパ

パフォーマンス向上とワークフロー強化、フォトリアリスティックな表現を可能にする Illustrator CC のフリーグラデーション機能、InDesign CC のパワフルな「内容を自動認識に応じて合わせる」機能、Web カメラと参照アートワークを使ってユニークなキャラクターを簡単に生成し、アニメーションを作成できる Character Animator の新しい Characterizer 機能、レンダープレビューのパフォーマンスを劇的に向上させる Dimension CC の新しいレンダリングエンジン、Adobe Stock の Adobe Sensei による検索機能と GoPro のビデオクリップライブラリなどが含まれます。さらにアドビは、アニメーション業界からの要望に応え、Animate から After Effects、Animate から Character Animator、Adobe XD から After Effects へという連携ワークフローを発表しました。

Web サイトやモバイルアプリ開発のためのオールインワンの UX/UI ソリューションである Adobe XD では、Amazon Echo のような音声対応デバイス用アプリやエクスペリエンスのプロトタイプ作成を可能にする新機能をリリースしました。これは以前買収した Sayspring のテクノロジーを活用したものです。デザイナーは音声トリガーやスピーチ再生といった音声認識機能を使って、スクリーンと音声の両方の操作に対応したプロトタイプ作成を1つのアプリケーションで行えるようになりました。加えて開発者は、Adobe XD API を用いてプラグインやアプリ連携機能を開発し、新機能やワークフロー自動化を追加したり、デザイナーが常用するツールやサービスと XD を連携させることができます。

ソーシャルビデオクリエイターを解放する Premiere Rush CC

動画クリエイターのためにデザインされた Premiere Rush CC は、ビデオ撮影から、直感的な編集、シンプルなカラーおよびオーディオ調整、モーショングラフィックス活用、さらに YouTube をはじめとする主要ソーシャルプラットフォームでのシームレスな公開までの一連の機能すべてを統合した、単一の使いやすいソリューションです。Premiere Rush CC を使えば、専門的な知識がなくとも、ビデオ、カラー、オーディオを調整、編集し、プロ品質のビデオを制作できます。

Premier Pro CC と After Effects CC のパワーを受け継ぐ Premiere Rush CC は、Adobe Stock に収録された、プロがデザインしたモーショングラフィックステンプレートにアプリから直接アクセスできるため、タイトルづくりもすばやく行えます。また、Adobe Sensei による、ワンクリックで BGM の音量を調整する自動ダッキング機能も装備しています。さらに、どこからでもアクセス可能で、デスクトップとモバイルを横断して一貫性のあるユーザーエクスペリエンスが提供されるため、ひとつのデバイス上で作成したプロジェクトを異なるデバイスから、対象のソーシャルプラットフォームに最適化されたフォーマットで投稿することもできます。

マルチデバイス対応の高性能な画像アプリとイラスト制作アプリをプレビュー

アドビは、マルチデバイスという新たな時代の制作環境に対応し、主要デスクトップアプリと連携したワークフローを構築できる、2つの次世代モバイルアプリのプレビューを公開しました。

- iPad 版 Photoshop CC：タッチ操作でコントロールできるよう再設計された iPad 版 Photoshop CC は、デスクトップ版と同じパワーと精確さを受け継いでいます。つまり、iPad 版 Photoshop で PSD のネイティブファイルをそのまま開いて業界標準と言える Photoshop の画像編集ツールで編集ができ、使い慣れたレイヤーパネルも装備されます。マルチデバイス対応の Photoshop CC は、iPad 版が 2019 年に提供開始予定です。iPad で編集作業を開始し、すべての編集内容を Creative Cloud を介してデスクトップ版 Photoshop CC で引き継ぎ、両者間を行き来して編集をすることができます。
- Project Gemini：デバイス横断でのドロー&ペイントワークフローを加速するために新たに開発されたアプリです。Project Gemini は、iPad 版を 2019 年に提供開始予定です。ビットマップとベクターならびに新しいダイナミックブラシを統合し、単一のドローイングエクスペリエンスを提供します。Project Gemini では、アーティストは使い慣れた Photoshop ブラシを同期して使うことができ、Photoshop CC との連携もスムーズに行えます。

Adobe Sensei による劇的な生産性向上

すでに Adobe Creative Cloud、Adobe Document Cloud、Adobe Experience Cloud にはたくさんの Adobe Sensei を活用した機能が搭載されていますが、Creative Cloud の 2019 年版リリースにはさらに数十を超える Adobe Sensei ベースの生産性向上機能が追加されています。

- Photoshop CC の「コンテンツに応じた塗りつぶし」ワークスペースは、より精密なコントロールが可能となり、求める結果を素早く得ることができます。
- InDesign CC の「内容を自動認識に応じて合わせる」機能は、画像の内容を検出し、イメージフレームのサイズに合わせた切り抜きを自動的に行います。
- Illustrator CC のフリーグラデーションは自然なグラデーションを作り出します。
- Character Animator の Characterizer は、どのような顔写真からも生き生きしたアニメーションキャラクターを生成します。

2019 年度の Creative Cloud リリースは、クリエイターの生産性を劇的に高め、より優れた作品を制作できるように、パフォーマンスの向上はもちろん、より密接なアプリケーション連携、直感的なコラボレーション機能、ファイルアセットとサービスへの迅速なアクセスを通じた操作性の向上にも努めています。アドビはまた、各アプリ内で「使い始める」エクスペリエンスを重視し、初心者が迅速かつ容易に新しいツールを習得し、新機能を含む各種機能にアクセスできるよう最適化を図っています。

ワークフローに関する新機能および機能向上には、選択したオブジェクトに応じて表示項目を自

動的に変更する InDesign CC のプロパティパネル、Photoshop CC の複数操作を「元に戻す」機能と自動リサイズ、Illustrator CC のカスタマイズ可能なツールバー、ライブラリの一括アップロードに対応した Bridge CC の UI の刷新などがあります。また、Creative Cloud のメンバーは、文書の送信、レビュー、承認のプロセスを刷新し、電子メールの添付やバージョン管理の必要をなくした、最新バージョンの [Adobe Acrobat DC](#) も利用できます。

イマーシブデザインの未来をプレビュー

拡張現実 (AR) コンテンツをデザインするクリエイターのための、新しいクロスデバイスの AR オーサリングツールである Project Aero もプレビュー公開されました。これはデザイナーとアーティストのために開発された初の AR ツールで、本年 6 月に Apple の世界開発者会議 (WWDC) のステージで初披露されました。Project Aero を使えば、クリエイターは現実世界に重ねてデジタルコンテンツを自在に配置できるため、AR コンテンツを最適化して展開することが可能です。

Adobe MAX では、イマーシブデザインエクスペリエンスの可能性を追求した、AR による未来の小売店舗を展示します。

エンタープライズカスタマー向けの機能拡張

アドビは、Creative Cloud と Experience Cloud の間でクリエイターとマーケターのワークフローを統合する連携機能を [発表しました](#)。この連携機能によって、ブランド企業は Creative Cloud アプリを使いながら Experience Manager のアセットに簡単にアクセスし、Experience Manager から直接 Adobe Stock 画像を利用し、Dimension CC でデザインされた 3D コンテンツを Experience Manager で調整し、マーケティングアセットとして公開できるようになります。

Creative Cloud のイノベーションと新機能の概要は [こちらのブログ](#) をご参照ください。

- [デジタル&クリエイティブイメージ](#) : Photoshop CC、iPad 版 Photoshop CC、[Dimension CC](#) (英語)、Project Aero、[Project Gemini](#)
- [フォト](#) (英語) : Lightroom CC、Lightroom Classic
- [デジタルビデオ&オーディオ](#) : [Premiere Rush CC](#)、Premiere Pro CC、After Effects CC、Audition CC、[Character Animator](#) (英語)
- デザイン&ビジュアルストーリーテリング : [Adobe XD](#)、[Illustrator CC](#)、[InDesign CC](#) (英語)、[Adobe Spark](#) (英語)
- サービス : [Adobe Stock](#) (英語)、[Adobe Portfolio](#)、[Adobe Fonts](#)

価格と提供開始時期

Creative Cloud デスクトップアプリのアップデートは、Creative Cloud 有償メンバーは本日からダウンロードできます。購入プランには個人版、学生、グループ版、教育機関、官公庁、エンター

プライズ版があります。アドビのモバイルアプリについては iOS App Store および Google Play からダウンロードが可能です。

iPad 版 Photoshop CC、Project Aero、iPad 版 Project Gemini は 2019 年提供開始予定です。
Android 版 Spark Post はこれまでパブリックベータ版として提供していましたが、正式なバージョン 1.0 として Google Play ストアから入手可能です。

Premiere Rush CC は Windows、macOS に加えて、App Store から iOS アプリが入手可能で
(Android 版は 2019 年提供開始予定)、お客様のニーズに応じてさまざまなプランで提供します。

- Premiere Rush CC 単体プランの価格は、個人版は月額 980 円 (税抜)、グループ版は月額 1,980 円 (税抜) です。コンプリートプラン、学生版および Premiere Pro CC の単体プランに含まれ、100 GB の CC ストレージが付きます。最大 10TB までのストレージの追加オプションもご用意しています。
- Premiere Rush CC スタータープラン：デスクトップ版、モバイル版ともにフル機能が無償で使用できます。作成できるプロジェクトは無制限で、3 プロジェクトが書き出し可能です。

Adobe MAX について

Adobe MAX は著名クリエイターやセレブリティら世界中のクリエイティブなマインドをもった人が一同に集まる場です。MAX 2018 の基調講演には、アカデミー賞授賞映画監督ロン ハワード ([Ron Howard](#))、コミックブックアーティストのニコラ スコット ([Nicola Scott](#))、世界的な写真家のアルバート ワトソン ([Albert Watson](#))、コメディアンのティファニー ハディッシュ ([Tiffany Haddish](#)) が登壇します。ハディッシュは、アドビの研究所 Adobe Research で開発中のイノベーション技術を先行公開する MAX Sneaks の司会を務めます。ほかにも [ミュージシャンのクエストラブ \(Questlove\)](#) と女優の [リリー シン \(Lilly Singh\)](#) (英語) とともに、MAX の来場者は Sony が公開を予定しているアニメ映画『スパイダーマン：スパイダーバース』の特別トレーラー映像の上映に立ち会います。さらに、HP、CDW、Dell、Google、Samsung、Intel といった主要テクノロジー企業、Adidas、Sony といった先進的なデザインマインドを持つクリエイティブブランドも参加します。Adobe MAX 基調講演のライブストリーミングは [こちら](#) で、日本時間 10 月 16 日午前 1 時 (米太平洋時間 10 月 15 日午前 9 時) と 10 月 17 日午前 2 時 (同 10 月 16 日午前 10 時) から配信予定です。

Adobe Sensei について

Adobe Sensei は、アドビのクラウドプラットフォームに組み込まれるフレームワークとインテリジェントサービス群で構成されており、デジタルエクスペリエンスのデザインと提供を大幅に改善します。人工知能（AI）と機械学習の統合フレームワークで、アドビが蓄積してきたコンテンツとデータアセットおよびデザイン、ドキュメント、およびマーケティング分野の深い専門知識を活用しています。詳細は、[Adobe Sensei のサイト](#)をご覧ください。

アドビについて

アドビは、世界を動かすデジタル体験を提供します。

アドビ システムズ 株式会社はその日本法人です。同社に関する詳細な情報は、[Web サイト](#)に掲載されています。

© 2018 Adobe. All rights reserved. Adobe and the Adobe logo are either registered trademarks or trademarks of Adobe in the United States and/or other countries. All other trademarks are the property of their respective owners.